

エントリーシート作成にあたって

## 社会起業塾エントリーの際のAI利用の注意点

エントリーシート作成にあたって、AIを使うかどうかは、皆さんご自身の判断にお任せしています。AIは仮説検証や思考整理の場面で役立つ一方で、使い方によっては、ご自身で考えを深める時間が失われてしまうこともあります。私たち自身も、日々の仕事のなかで試行錯誤しているところです。

エントリーシートを書くプロセスは、社会起業塾の半年間の入口にあたるものだと私たちは考えています。「なぜ自分がこの課題に取り組むのか」「どんな社会を実現したいのか」——こうした問いに自分なりの言葉で向き合う時間が、入塾後の歩みを支える土台になります。

私たちがエントリーシートを通じて何を受け取りたいと考えているのか、そしてAIとの付き合い方で気をつけていただきたいことを、現時点での考えとしてお伝えします。

### ■ まずはご自身で考えていただきたいこと

以下のような問いには、ご自身の体験と内省を通じて向き合っていただきたいと考えています。整っていないでも、ご自身の言葉で書かれたものを、私たちは大切に受け取りたいと思っています。

- ・なぜ自分がこの課題に取り組むのか(原点・志)
- ・現場で誰と出会い、何を見て、何を感じたか
- ・ご自身の中にある違和感・葛藤・問い
- ・この事業を通じて実現したい社会の姿
- ・社会起業塾の半年間で深めたいこと

### ■ AIを活用しうる観点

一方で、以下のような場面では、AIが考えを進める助けになります。必要に応じて、思考の道具として取り入れてみてください。

- ・ご自身で書いた表現のブラッシュアップ(読みやすさ・誤字脱字の確認)
- ・ご自身の仮説に対する反対意見や批判の洗い出し
- ・関連する統計データや先行事例の調査・整理
- ・頭の中にある情報の構造化・図解化
- ・考えを整理するための対話の相手

### ■ AIを使う際に気をつけていただきたいこと

これまでの経験から感じていることを5つお伝えします。

#### 1. ご自身の考えを先に持つ

AIに白紙の状態で見えを投げると、それらしい答えが返ってきます。それを目にしたとき、自分の考えとの境界が曖昧になりやすいです。まずご自身の仮説を書き出し、その上でAIに意見を求めるという順番をおすすめします。

#### 2. AIの整理を、いったん疑ってみる

AIは混沌とした考えを整った形に変えてくれます。けれども、整った瞬間に、まだ言葉にならなかった違和感や直感が、ご自身の中から離れてしまうことがあります。AIの出力に納得しそうなときほど、いったん立ち止まってみてください。

#### 3. あえて反対の視点を求める

そのままAIに尋ねると、こちらの考えに沿った回答が返ってきがちです。「私の仮説に賛成しないでください」「受益者の立場から批判してください」と、意図的に反対の視点を求めてみることで、思考を深める助けになります。

#### 4. AIで完結させず、人と対話する

AIに相談しても摩擦は生まれませんが、人から「本当にそうだろうか」と問い返されることで、ご自身の前提が揺さぶられる経験は、AIとの対話だけでは得にくいものです。AIは思考の準備に使い、核心となる問いは、信頼できる方との対話に持ち込んでみてください。

#### 5. 考え抜くプロセスそのものを大切にする

AIに素案をつくらせ、それに手を入れていく進め方と、ご自身で素案を書き、それをAIに見てもらう進め方とは、できあがるものは似ていても、ご自身の中に残るものが違ってきます。ご自身と事業の根幹に関わる問いは、ぜひご自身の手で書き進めてみてください。

エントリーシートで、すべてが整理されている必要はありません。むしろ、未完成の問いや迷いも含めて書いていただけたらと思います。また、AIを使わずに書いていただくことも、もちろん歓迎しています。大切なのはツールの有無ではなく、ご自身の言葉で問いに向き合っていたいただくことです。

整いきっていない部分は、半年間のなかで、メンターや仲間との対話、現場での実践を通じて、深めていくことができます。皆さんからのご応募を、心よりお待ちしております。